

令和6年度 秋田県特別支援学校教育研究会

研究部会「教育課程編成部会」 記録

協議題：「今年度の研究の成果と課題を教育課程の編成や日々の授業づくりへどう生かすか」

Aグループ：○附属、☆たかのす、視覚、栗田、大曲

Bグループ：○かつの、☆聴覚、みどり、せんぼく、稲川

Cグループ：○きらり、☆比内、能代、ゆり、横手

○司会 ☆記録・報告



赤色



青色



黄色



成果



課題



参考になる取組、次年度への提案

成果	課題	参考になる 取組・次年度 への提案
----	----	-------------------------

テーマ：『今年度の研究の成果と課題を教育課程の編成や日々の授業づくりへどう生かすか』

教育課程の編成

研究と教育課程の連携

研究を進めたことを教務部につないでいくこと
池田和隆

教務部主催のつながりミーティング（単元構想会や児童生徒の見取り）の研究での活用
池田和隆

研究の成果と教員の達成感

教員が達成感を感じられるような研究の進め方
横室・林菜美子

学習集団の段階的な捉え

対話的な学習活動ができる学習集団の形成
大森文雄学校

授業づくりの視点を設定し、ゴールの共有したことで、段階的な姿を捉えた
大森文雄学校

指導案と自立活動

自立活動の視点での指導案の記入
大森文雄学校

わかはとシステム運営委員会（研究の評価を教育課程の編成につなげる会）の実施
池田和隆

研究対象教科と、教育課程の中心に据えている学習（絆プロジェクト）との関連を検討した
Ito Ayaka

社会参加と学習の連携

日々の学びが社会参加にどうつながっていくか、具体的にイメージできる場の設定
横室・林菜美子

授業づくりから得た成果や課題を、他分掌と共有して連携する
Ito Ayaka

研究テーマに基づき、各学部で目指す姿を明確にし、段階的なつながりが見えたこと
杉岡隆子

研究の取組、成果を十分に生かすことができる教育課程検討委員会の設置
池田和隆

教育資料ガイドへの反映（年度末に見直し）
池田和隆

授業づくり

教育方法

思わずやってみたくなる動機付けや仕掛けの工夫
大森文雄学校

授業改善

様々な考えに触れ、自分に合った方法を探る機会の拡大
大森文雄学校

授業づくりに必要な視点が明確になった（授業づくりのポイント）
杉岡隆子

全校で統一した授業づくりのポイントを活用した授業協議
杉岡隆子

児童生徒理解

児童生徒の実態を多角的に見取り、各教科における「見方・考え方」を働かせる場面を設定できた
横室・林菜美子

児童生徒の面談でのわかはとモデル（生涯学習力を見取る視点）の活用
池田和隆

情報共有とICT活用

授業に関する情報交換対象教科の全グループの授業の一場面を動画に撮り、見合う教材展示をして全職員で見合う など
Ito Ayaka

授業研究会の成果と課題を全職員で整理する時間を設け、その後の授業づくりにどう生かすか考えて共有する機会の設定
Ito Ayaka

授業に至る環境づくりやICT活用など新しい教材・教具について情報共有できた
横室・林菜美子

合わせた指導の授業づくりで各教科の根拠を押さえること
池田和隆

職員一人一人が授業改善できた、と感じられる方法
Ito Ayaka

研究部が日にちやメンバーや目的をコーディネートとして、事前検討会と授業シミュレーションを実施
杉岡隆子

多角的な視点での児童生徒理解とその共有
杉岡隆子

わかはとモデル（生涯学習力を見取る視点）の面談での活用の仕方の提示
池田和隆

対話とコミュニケーション

自分の考えを持つ、集団で話し合う、振り返るといった一連の流れの授業展開
大森文雄学校

対話的な活動時の視点の設定
大森文雄学校

日々の授業に生かしていくための効果的な検証方法
横室・林菜美子

負担感の少ない、日常的な授業づくりへの生かし方会議のもち方やツールの活用など
Ito Ayaka

手立ての意図を明らかにした授業
杉岡隆子

対話の重要性を再認識でき、児童生徒の深い学びの姿を共通理解することができた
横室・林菜美子

教師同士の対話の充実を図った授業改善
大森文雄学校

成果	課題	参考になる 取組・次年度 への提案
----	----	-------------------------

テーマ:『今年度の研究の成果と課題を教育課程の編成や日々の授業づくりへどう生かすか』

教育課程の編成

教育課程を変更することについて
中野あかね

授業づくり

児童生徒の実態や課題の共有
授業づくりの意識づけ
焦点化
中野あかね

実態や課題を共有

焦点化した授業づくり

研究の取組を通して、児童生徒の課題を共有できた。
中野あかね

授業研究会が他学部、他学級の取組、児童生徒の実態を知る機会になった。
中野あかね

単元構想や授業づくりにチームで取り組む土台の形成
みどり学園 教頭

協議の視点の焦点化と次につながるキーワードの具体化による授業改善の促進
みどり学園 教頭

「聞くこと・話すこと」についての授業づくりに全校で取り組み、成果をまとめて、効果的な手立てを整理した。
秋田県立船川支庁学校

指導の専門性の向上

職員の授業づくりに対する意識が向上した。
秋田県立船川支庁学校

指導案に記載することで自立活動の視点を踏まえた支援を検討するようになった
Kimura Saori

小・中学校の国語の先生から指導助言をいただく機会を設けた。
秋田県立船川支庁学校

国語科を通して育てたい資質・能力について話題にし共通理解する機会が増えた
Kimura Saori

全校授業研究会の取組を日々の授業に生かす方法
般化
中野あかね

1教科の取り組みから、他教科との関連を検討する
中野あかね

日々の般化できる方策を探っていく
中野あかね

年間指導計画を語る会
作業日誌等の情報共有
ふらっとミーティング
中野あかね

研究の実践を日々の取組に生かす

聴覚教育の専門性
自立活動の視点をもった取組
中野あかね

授業研をやりっぱなしにせず、日々の授業に生かす方法
中野あかね

職員の温度差
秋田県立船川支庁学校

全校授業研究会での提示
授業は丁寧に取り組めるが、日々の取組まで同じように取り組む意識
中野あかね

児童生徒の変容を根拠にするための日々のエピソードの蓄積
Kimura Saori

授業全体、他授業、抽出席の指導等への応用、般化
みどり学園 教頭

実態差への対応
秋田県立船川支庁学校

単元だけではなく年間の取組の評価
Kimura Saori

国語で学んだこと他教科、日常生活に活かすこと。
秋田県立船川支庁学校

成果	課題	参考になる取組・次年度への提案
----	----	-----------------

テーマ:『今年度の研究の成果と課題を教育課程の編成や日々の授業づくりへどう生かすか』

教育課程の編成

授業デザインと研究

各教科の見方・考え方を抑えた単元題材構想シートの活用
△成果

学部間での学びのつながり(学びの履歴、学習内容等)
△成果

各教科等の目標や内容をよりよく履修するための指導の形態の検討
△成果

教師と保護者の連携

キャリアパスポートの様式、面談などを工夫
△成果

単元題材構想検討会・中心単元検討会の実施、類型チーム、教務部、研究部の連携
△成果

教科等横断的な視点による学びへのアプローチ
△成果

小の6年間、中高の3年間、そして12年間を見通した資質・能力の育成とそのため教育課程の工夫
△成果

児童生徒の思いやねがいを聞き取り、授業づくりまで生かすシステムの構築
△成果

その他

児童生徒の変容をまとめ、共有する
△成果

☆本解説書の活用
△成果

連携とコミュニケーション

保護者との連携
△成果

他教科や合わせた指導とのつながり
△成果

全校縦割りミーティングの実施
△成果

授業づくり

学習活動と生徒の参加

自分や友達への頑張り、変容に気づき、学びを実感するための掲示物やICTの活用
△成果

学習活動の充実(興味・関心や願い各教科の指導内容)
△成果

学習への参加率の向上
△成果

学習環境と指導方法

12年間で育成する資質・能力の一覧化による教育計画の整備
△成果

学習グループの編成
△成果

自立活動の視点に立った学習環境の整備
△成果

聞く、話すときのルールを設定
△成果

指導の形態の工夫
△成果

授業観察と参観体制

授業研究会における見取りの焦点化
△成果

学部、類型を超えた授業を見合う会の実施
△成果

動画を活用した授業の参観体制
△成果

研究に関する校内情報サイトの開設(研究ラボ)
△成果

学習指導案様式を改訂したことによる本時授業の検討時間の確保と充実
△成果

授業を1単位時間見るための参観体制の整備
△成果

評価と目標設定

各類型に応じた評価の在り方・評価規準・客観性等
△成果

12年間で指導する、教科別の指導内容の設定と時数配当(理社など)
△成果

根拠のある単元目標の設定
△成果

視点を活用した毎時間の振り返りの習慣化
△成果

教科の目標達成に向けたためあてや授業展開の工夫
△成果

課題に気付いたり学びを深めたりするための発問の工夫
△成果

授業参観と振り返り

ねらいを明確にし、TT間で共有した上での発問の工夫や精選
△成果

単元検討会の実施
△成果

子どもと一緒に授業をつくる、進めていこうとする教師側の意識の変化
△成果

各教科等の見方・考え方を働かせた授業
△成果

合わせた指導に係る考え方の共有と実践
△成果

板書例の提示
△成果